

球磨焼酎のリキュールどうぞ

崇城大生物生命学部3年の白石美嘉さん(20)と古賀碧さん(21)が、球磨焼酎の蔵元と協力し、若い女性向けのリキュール「ぐくりくま」を開発した。

県が若者の起業支援策として本年度から始めた「ワサモンのまちづくり推進事業」を同大が受託。学生からビジネスプランを募った。

2人は学生起業家の育成を目指す大学公認の「起業部」に所属。球磨焼酎の女性市場を開拓する狙いで立案し、商品の買い付けから蔵元との交渉、パッケージのデザインを担当した。開発費は一般からの出資を募り、国の交付金も活用した。販売するのは、焼酎に梅やパンペイユなどを掛け合わせた蔵元4社のリ

崇城大生が開発 若い女性にアピール



女性向けの球磨焼酎リキュールを開発した崇城大の古賀碧さん(左)と白石美嘉さん＝県庁

キュールで、ボトルをかわいらしい球状にし、箱にはクマの絵をあしらった。

「今後の事業展開については、ネットで見つけた。今後の事業展開につな

3日、県庁で完成報告会があり、白石さんは若い女性が親しみやすいリキュールを求め蔵元を回った。多くの人にファンになってほしい」、あざざり町出身の古賀さんは「古里の球磨焼酎を全国に発信したい」と笑顔を見せた。今後の事業展開につなげるため、ネットで資金を募るクラウドファンディングの出資者に販売する。1口3千円で2本(1本180ミリ)から。売り上げ目標は50万円。専用サイト「Makuae」で、7日正午から受け付ける。(宮崎達也)